

(1) 事業の概要等

事業番号	B0600
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	し尿収集助成事業					担当部			市民生活部		
	事業期間	昭和63年度以前	～	令和7年度以降		担当課			ごみ政策課			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	6	展開 方向	担当係			ごみ減量推進係			
	予算区分	一般会計	款	4	項	2	目	3	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業者等の合理化に関する特別措置法等					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市は区域内におけるし尿・汚泥を適正に処理する責任がある。市は下水道の整備等により、し尿汲取り業務が大幅に減少し、許可業者による正常な業務運営が困難な状況に至っていることから、安定的な業務の運営が図れるようにする必要がある。また、し尿汲取り費用の住民負担を軽減し、し尿の適正処理の維持を図る。										
	対象 (何・誰を対象に)	市民、し尿汲取り許可業者										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>●令和4年度の実施内容 し尿汲取り許可業者に対して手数料の補助を行った。</p> <p>(主な事業の成果)</p> <p>(1)し尿汲取り手数料補助金: 4,346,062円 ※手数料補助金 収集量に応じて70円/18ℓ (市民負担(R1.10～) 155円/18ℓ:消費税10%) (市民負担(～R1.9) 150円/18ℓ:消費税 8%)</p> <p>○R4年度し尿収集量: 約1,118kℓ</p> <p>○し尿汲取り手数料補助金の経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成4年度 補助金25円/18ℓ ・平成10年度 補助金30円/18ℓ ・平成15年度 補助金40円/18ℓ ・平成16年度 補助金50円/18ℓ ・平成29年 5. 1～ 補助金70円/18ℓ ・令和2年度 補助金90円/18ℓ ・令和3年度～ 補助金70円/18ℓ <p>(2)災害時し尿汲取り補助金: 17,205円 ※汲取り料金の半額を補助(市民への徴収額について減額したものに限る)</p> <p>○令和4年度補助件数: 9件</p>										
受益者負担	有	市民負担155円/18ℓ										

(2) 事業費

		項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5	
事業費	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	8,892	15,518	10,289	4,364
				国・県支出金	千円				
				その他	千円				
		計(A)			千円	8,892	15,518	10,289	4,364
		対前年比			%	—	174.5%	66.3%	42.4%
		予算額			千円	13,409	19,114	15,174	6,114
人件費	正規職員			人	0.01	0.01	0.01	0.01	
	正規職員(平均賃金)			千円	75	75	75	75	
	その他職員			人	0.05	0.05	0.05	0.05	
	その他職員(時給×時間)			千円	79	79	79	79	
	計(B)			千円	154	154	154	154	
事業費合計(C=A+B)				千円	9,046	15,672	10,443	4,518	

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		6		展開方向	
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5
1							
2							
3							

指標	指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5
	成果指標		目標						
実績									
		目標							
		実績							
活動指標	し尿収集助成事業 ※目標値(補助金予算額)	千円	目標		13,409	19,114	15,174	6,114	
			実績		8,892	15,518	10,289	4,364	
	し尿汲取り業者の安定的経営(収集量実績) (~R1:3社、~R2:2社、R3~1社)	kℓ	目標		3,400	2,291	2,200	1,500	
			実績		2,318	1,898	1,097	1,118	
単事業あたり	受益者数(a)		人		—	—	—	—	
	受益者あたり事業費(=C/a)		円		—	—	—	—	

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事業の達成状況と課題	<p>公共下水道の整備、浄化槽の普及によりし尿汲取り量は年々減少していたが、令和3年度から令和4年度の実績では横ばいとなっており、今後のし尿汲取り量についても現状維持又は減少傾向になると考えられる。 今後のし尿汲取り量と経済状況を考慮し、「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業者等の合理化に関する特別措置法」の趣旨に基づき、し尿収集業者の安定的な業務の運営が図れるよう適正な支援をする必要がある。</p>					
	今後の実施内容	<p>昨今の経済状況を考慮し、補助金の見直しを図る。</p>					
事務事業評価による額	千円		節	細節		細々節	